

19 老朽化した水道・下水道施設の更新や耐震化の推進

（総務省，厚生労働省，国土交通省）

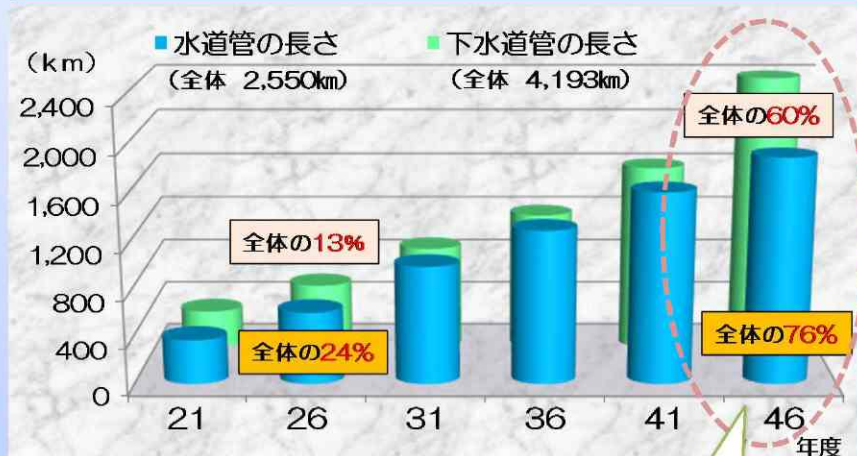
市民生活や事業活動を支えるライフラインとしての機能を安定的に維持し，災害発生時にも機能不全に陥らないよう，安定的かつ長期的に水道・下水道施設の老朽化対策及び耐震化を推進していくため，次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 水道・下水道施設の老朽化対策，及び耐震性向上に対する，国の財政支援制度における採択基準の拡充と国費率の引上げ
- (2) 老朽化した旧簡易水道施設更新のための国庫補助制度の創設
- (3) 高金利建設企業債の借換制度の創設（3％以上での借換実施）

老朽化した水道・下水道施設の更新や耐震化の推進

老朽化した水道・下水道施設の増大
による大規模更新の時期が到来



【水道管が破損し吹き出した様子】

約20年後には、耐用年数（水道管40年、下水道管路50年）を超過した管路が…
水道では全体の約7割超、
下水道では全体の約6割に！！

老朽化した水道・下水道施設の
計画的な改築更新が必要！！

東日本大震災や熊本地震において、
水道・下水道の重要性を改めて認識

【京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)に掲げる目標】

毎日安心して使用することができ、災害にも強い水道・下水道を目指し、中期経営プランに基づき水道・下水道施設の整備を推進

水道配水管の更新率

0.5%※ → 1.2%
平成24年度 → 平成29年度

※ 平成20～24年度の平均値

下水道管路地震対策率

58.9% → 87.7%
平成24年度 → 平成29年度

<水道配水管の更新計画>

年度	H25(実績)	H26(実績)	H27(見込)	H28(予算)	H29(計画)	合計
配水管更新延長 (更新率)	23.5km (0.9%)	22.0km (0.9%)	26.0km (1.0%)	28.7km (1.1%)	30.0km (1.2%)	129.5km

<下水道管路の地震対策計画>

年度	H25(実績)	H26(実績)	H27(見込)	H28(予算)	H29(計画)
下水道管路地震対策率	64.6%	70.7%	76.9%	82.6%	87.7%

地震等の災害に強い
水道・下水道の構築が急務！！

安定的なライフラインの維持及び災害対策のために…

- ① 水道・下水道施設の老朽化対策及び耐震性向上に対する国の財政支援制度における採択基準の拡充（上水道事業：対象施設（配水支管）の拡充、下水道事業：布設後50年を経過した管渠への補助の継続）及び国費率の引上げが必要！
- ② 簡易水道事業の上水道事業への事業統合後においても健全な経営を維持するために、旧簡易水道の施設更新に対する国庫補助制度の創設が必要！
- ③ 財政負担の軽減を図るには、高金利建設企業債の借換制度の創設（3%以上での借換実施）が必要！

実現すれば、約57億円の
利子負担軽減が可能！